



### <来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位: 億円)

| 日付        | 資金需給予想  |          |          | 主要要因 | オペ期日               | オペスタート               | イベント  |  |
|-----------|---------|----------|----------|------|--------------------|----------------------|---|--|
|           | 銀行券要因   | 財政等要因    | 資金過不足    |      |                    |                      |   |  |
| 12/27 (月) | ▲ 3,000 | + 20,100 | + 17,100 |      | 新型コロナ企業支援<br>CP等買入 | ▲ 107,700<br>▲ 1,000 | 新型コロナ企業支援 + 124,700<br>国債買入 + 9,500<br>国債買現先 + 15,200 | 日: 金融政策決定会合における主な意見<br>(12月16・17日)<br>日銀、1-3月の国債買入予定 |
| 12/28 (火) | ▲ 2,000 | ▲ 3,000  | ▲ 5,000  |      |                    |                      |   | 日: 完全失業率、有効求人倍率<br>鉱工業生産 (11月)                       |
| 12/29 (水) | ▲ 2,000 | ▲ 1,400  | ▲ 3,400  |      |                    |                      |   |  |
| 12/30 (木) | ▲ 700   | ▲ 1,600  | ▲ 2,300  |      |                    |                      |   | 米: 新規失業保険申請件数 (25日終了週)                               |
| 12/31 (金) |         |          |          |      | 休日                 |                      |   |  |

### <インターバンク>

日銀当座預金残高は週初12月20日、国債の大量償還により前営業日比+69,200億円の537兆6,100億円から始まった。その後国債買入オペにより22日には538兆4,000億円まで増加し、24日には気候変動対応オペにより前営業日比+20,500億円の540兆4,300億円(速報)で越週した。

無担保コールON物加重平均金利は週初△0.028%から始まった。その後地合いに大きな変化はなく、同水準で推移した。週末3日積みみの24日はビットサイドの一部で調達意欲の高まりも見られ、同金利は△0.023%(速報)まで上昇した。ターム物は12月末エンドを中心に、主に△0.025%~△0.005%の水準で出合いが見られた。

12月23日に、初めてオファーされた気候変動対応を支援するための資金供給オペレーションの結果は、貸付予定総額が20,483億円となった。

来週の主な予定は、国内で27日に金融政策決定会合における主な意見(12月16・17日分)の公表や28日に完全失業率、有効求人倍率、鉱工業生産指数(11月)の公表などがあり、海外では30日に米新規失業保険申請件数の公表などが予定されている。

### [無担保コールレート]

|     | 予想レンジ (%)      |
|-----|----------------|
| O/N | △0.085 ~ 0.001 |
| 1M  | △0.050 ~ 0.020 |
| 2M  | △0.020 ~ 0.050 |
| 3M  | 0.000 ~ 0.100  |
| 6M  | 0.000 ~ 0.130  |

### <レポ>

今週の足許GC取引は、△0.085%近辺の出合いから始まり、週央まで同水準で推移。24日受渡しでは△0.06%近辺までレートが上昇した。翌27日受渡しでは、国債買現先オペがオファーされ△0.075%~△0.065%の出合いとなった。SC取引では2年425~431回債、5年139~149回債、10年333~364回債、20年164~178回債、30年69~72回債、40年9~14回債などに引合いが多く見られた。

### [オープン市場]

|               | 予想レンジ (%)      |
|---------------|----------------|
| 現先<br>(on/1w) | △0.050 ~ 0.000 |
| CP 3M         | △0.080 ~ 0.000 |

### <C P>

今週の入札発行総額は約1兆2,500億円で、週間償還額(約2兆200億円)を下回った。発行市場は、電気機器や小売り等の銘柄で大型の発行が行われる等、一定量の発行が見られたものの、企業による期末の負債圧縮の動き等から、償還超となった。発行残高は12月10日以降日次ベースで過去最高残高を6日間連続で更新し、先週末(12月17日)にはピークとなる26兆6,402億円まで増加した。12月23日時点では26兆4,686億円に減少した。発行レートは、発行量や発行期間等で幅広い水準での約定が見られ、発行頻度の低い一部の銘柄では深いマイナスでの応札見られる等△0.08%台後半~0.000%での出合いとなった。来週の週間償還額は、月末日の大量償還(1兆9,500億円)を含み、約2兆1,600億円となっている。事業法人による期末の負債圧縮により多額の期日償還が見込まれるため、償還超が予想される。多くの企業が年末休暇に入るため、取引はやや閑散を予想する。発行レートはコロナオペ担保目的等の引受需要の強さから、マイナスレートでの積極的な応札が行われると思われる。27日に、CP等買入れオペが5,000億円でおfferされる予定となっている。

### <TDB>

今週入札はなかった。20日に実施された国庫短期証券買入オペは、1,000億円(前回1,000億円)のオファーに対して応札額は9,618億円、落札額は1,001億円、按分レートは0.005%、平均落札レートは0.008%、按分比率は14.0%となった。なお来週も入札の予定はない。